

授業改善推進プラン

旭丘中学校

教科名	音 楽	担当教員	小林 香代
-----	-----	------	-------

1. 昨年度の授業改善の成果と課題

<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が歌唱指導中、技術の向上を目標に意欲をもって練習に取り組んでいた。またパートリーダー、指揮者・伴奏者等が中心となって、自主的に表現活動に取り組んでいた。 ・器楽の表現活動（アルトリコーダー・箏など）では、個に応じた指導ができた。 ・箏の爪の老朽化に伴い、補充を計画的に行えた。 ・鑑賞についてはワークシートを活用し曲の解釈、理解を深めた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合唱曲の固定化を避け、メロディー、ハーモニー、詩の内容など、学年の課題や心情にあった曲の教材研究。 ・出身小学校により、アルトリコーダーの経験が違い、スタートにバラツキがあるためどちらも意欲的に取り組める教材選びが必要。
--

2. 今年度の本校生徒の学習指導上の課題

1 年	<p>①基礎的・基本的内容の定着に関して 音楽の基礎、楽典面について、理解させる。 基礎・基本的内容を定着させるために、音楽用語、読譜力などについて、繰り返し、確実に理解させる。</p> <p>②主体的な学習態度、学ぶ意欲などに関して 与えられた課題だけにとどまらず、自主的により深く曲を分析する姿勢を身に付けられるように自らも考え、学習していく応用力を付けさせる。</p> <p>③その他 歌唱のほか、器楽ではアルトリコーダー・箏についての基本的奏法を身に付けさせる。また鑑賞能力については楽曲に感心をもち、集中して聴く力をつけさせる。</p>
2 年	<p>①基礎的・基本的内容の定着に関して 歌唱においては、変声期を考慮しながら、無理なく歌えるように指導と配慮をしていく。発声についても様々なアプローチをして意識させていく。</p> <p>②主体的な学習態度、学ぶ意欲に関して 取り組んでいる楽曲について自ら課題を探し、自主的・意欲的に取り組む姿勢を育てる。</p> <p>③その他 歌唱のほか、器楽ではアルトリコーダー・箏についての奏法を定着させ、オーケストラ鑑賞教室を利用し知識を深め、鑑賞能力を養うようにする。</p>
3 年	<p>①基礎的・基本的内容の定着に関して 3年間の学習内容の復習をしつつ、基礎的・基本的内容を繰り返し取り上げ、表現の能力を身に付けさせる。</p> <p>②主体的な学習態度、学ぶ意欲などに関して 自主的・意欲的に取り組む姿勢がみられるので、特に合唱においてはパートリーダー、指揮者、伴奏者等が中心となって、楽曲の分析、表現の工夫などさらに意欲的に取り組めるようにさせる。</p> <p>③その他 義務教育の区切りとして、さまざまなジャンルの音楽に触れさせたり、音楽史を学習することにより、幅広い視野をもち今後の生活で音楽を楽しめる心を育てる。</p>

3. 今後授業を行っていく上での「指導方法の課題分析」と「具体的な授業改善案」

	指導方法の課題	具体的な授業改善案
1 年	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本的内容を定着させるために、音楽用語、読譜力などについて、繰り返し、確実に理解させる。 与えられた課題だけにとどまらず、自主的により深く曲を分析する姿勢を身に付けられるように自らも考え、学習していく力を付けさせる。 アルトリコーダー・箏についての基本的奏法を身に付けさせる。 個に応じた指導ができるように、生徒理解に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 実技の基礎、歌唱では声の出し方、器楽では構え方から指導する。また、楽典についても、プリントなどを作って基礎からやっていくようにする。 意欲をもって取り組んでいけるように、教科書などの教材にとらわれず、様々なジャンルの曲を取り入れ、授業に興味・関心をもてるようにする。 パート練習の時を中心に、一人一人を回り、声の出し方等の個別指導をしながら、生徒の実態を把握し、個々の理解に努める。 器楽においては、アルトリコーダー、箏の指導について、一人一人の技術や進み具合を把握して、個々に合った進捗で、課題を進めていくようにさせる。特に、初めて触る楽器でもあるので、楽しくできるようにする。
2 年	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱においては、変声期を迎えているので、無理なく歌えるように考慮した指導をしていく。 発声についても様々なアプローチをして意識させていく。 合唱指導では、リーダーを作り、そのリーダーが中心となって、一人一人が自ら取り組めるようにする。 箏を利用し、意欲的に創作に取り組む工夫をする。 個に応じた指導ができるよう、個々の理解に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱では、変声期を迎えるので、理解を深めていく。その間、喉声でなく無理のない発声を意識させる。 パートリーダー、指揮者、伴奏者などのリーダーを作り、そのリーダーを適切に支援し、そのリーダーを中心として、一人一人が自ら取り組めるようにする。 パート練習の時を中心に、一人一人を回り、声の出し方等の個別指導をしながら、まず個人がのびのびと声を出せるように導くように努め、また個々の理解に努める。 器楽においては、アルトリコーダー、箏の指導について、一人一人の技術や進み具合を把握して、個々に合った進捗で、課題を進めていくようにさせる。
3 年	<ul style="list-style-type: none"> 3年間の学習内容の復習をしつつ、基礎的・基本的内容を繰り返し取り上げ表現の能力を身に付けさせる。 合唱においてはパートリーダー、指揮者、伴奏者等が中心となって、楽曲の分析、表現の工夫などさらに意欲的に取り組めるようにさせる。 義務教育の区切りとして、さまざまなジャンルの音楽に触れさせたり、音楽史を学習することにより、幅広い視野をもち今後の生活で音楽を楽しめる心を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1・2年で学んだ事を復習しながら、実技についても楽典についても基礎的・基本的内容を身に付けさせる。 最上級生という自覚をもち、パートリーダー、指揮者、伴奏者を中心とした集団の中で、一人一人が意欲的に取り組めるように支援していく。 パート練習の時を中心に、一人一人声の出し方等の個別指導をしながら、生徒の実態を把握し、個々の理解に努める。 様々なジャンルの音楽にできるだけ触れさせる機会をもつ。

3. その他(補充的内容及び発展的内容に関する指導について、コンピュータの活用 など)

<ul style="list-style-type: none"> 合唱コンクールや卒業式など、いろいろな行事で歌を歌う機会が多いので、その場面に応じた発声ができるように、授業でも関連して指導する。 練馬区の貸し出し箏を使って、箏に親しみをもって演奏できるようにさせる。また日本の音階、伝統音楽についての理解を深めていく。
--